

あおぞら

第61号



医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療
【Humanism】
2. 高度医療の提供
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての
人間的成長 【High Growth】

目次

新年のご挨拶	2
地域医療フォーラム in 長崎	3
連携病院紹介 山根内科胃腸科医院	4
ケーススタディーを終えて	5
漢方薬のはなし	6～7
NEW FACE	7
ペット紹介	7
外来週間診療予定表	8

特定医療法人

新年のごあいさつ

副院長
消化器内科部長
兼画像診断科部長

福田 康弘



新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ一色でしたが、今年は以前の生活に戻る事を祈願しています。改めて人が集まって食事や会話をすることの大切さを実感させられました。笑顔は人に安心感をもたらしますが、マスク越しでは笑顔もよくわかりませんが、人は周りの人との関わりの中でまずは安全を確保した上で自分の価値を確認出来る行動をおこすのだと思います。

人口減少、高齢化が進む中、最近のデータで長崎県の高齢化率は、全国平均を上回っていて全国14番目でした。長崎大学は2020年4月に情報データ科学部を新設し、県はIT関連の企業の誘致を行っています。地元で学んで地元で働ける環境を作り、若い人の地元への定着を模索しています。

高齢者が出来るだけ地域で生活するための仕組みは完成しつつあります。しかし、高齢

者が家族や地域の中で何か役割を果たす事が出来るかどうかの問題だと思います。役割が無くなるとする事が無くなり、体力も認知機能も低下してしまいます。誰かに「ありがとう。」と言ってもらえる役割を持っていると、コミュニケーションも生まれるし、喜びもあります。歳をとってから新しく何かを始める事は出来ないの、若いうちに歳をとっても出来る周りの人に喜んでもらえる役割を作っておく事が重要だと思います。

高齢化社会は病院にとって大きな問題です。高齢者が家族や社会に貢献出来る仕組みを作る事が課題だと思います。私自身は老後の事も考えて家庭菜園を行っていて、現在はイチゴの促成栽培に挑戦しています。光晴会病院としても病気を治すだけでなく、高齢者をはじめ地域の皆さんの健康維持に貢献出来ればと思います。

地域医療フォーラム in 長崎

地域包括ケアに欠かせない排便ケアを開催しました



病院長
岡田 和也

当院では便秘で悩む患者さんの病態を明らかにし、治療するための専門外来である「便秘外来」の開設を予定しています。それに先立ちまして2021年7月27日「地域包括ケアに欠かせない排便ケア」と題しまして、「地域医療フォーラム in 長崎」が当院とEAファーマ株式会社の共催で開催されました。

コロナ禍の中、WEB開催ということになりましたが、排便ケアのスペシャリストとして全国でご活躍されているお二人の先生方にご講演頂き貴重なお話を伺えることができました。高齢化社会とストレス社会の中で問題となっている排便障害に対し、どのようにケアを行っていくのか、そして便秘で困っている患者さんに対しどのような外来対応を行っていけばよいのか、その実臨床につきまして詳細にご解説頂きました。

講演1は日本コンチネンス協会九州支部副支部長でコンチネンスアドバイザーである種子田美穂子先生にお願いしました。種子田先生からは「在宅生活の要となる排便ケアを考える」と題しまして、排便ケアに必要な基礎知識や、チームでアセスメントするための方法やケアの実際につ

いて、成功事例を織り交ぜながらわかりやすくご講演頂きました。

講演2は社会医療法人社団高野会くるめ病院名誉院長の荒木靖三先生にお願いしました。荒木先生からは「知っておきたい『便秘外来』」と題しまして、良い排便ケアを行うために必要な知識やチームワークの重要性、排泄リハビリセンターの地域後援会や啓発活動について、そしてくるめ病院の「便秘外来」の実際につきまして、詳しくご講演頂きました。

本セミナーにはWEB参加で41名、感染対策を十分にとった会場に50名、計91名の方にご参加頂きました。ご多忙の中、本セミナーにご参加頂きました皆様方ならびにご講演頂きましたお二人の先生方、そしてフォーラム開催にあたりご尽力いただきましたEAファーマ株式会社の皆様、この場をお借りしてあらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。



ZOOM 開催 **地域医療フォーラム in 長崎**
— 地域包括ケアに欠かせない排便ケア —
2021年7月27日(火)
17:30 ~ 19:00
*本フォーラムは、ネット回線を利用したライブ配信となります。視聴方法は裏面をご確認ください。

17:30~ 情報提供 EAファーマ株式会社
司会 特定医療法人 光晴会病院
院長 岡田 和也 先生 

講演1: 17:40 ~ 18:20
在宅生活の要となる排便ケアを考える
演者 (元) くるめ病院 排泄リハビリテーションセンター長
(現) 大牟田市保健福祉部 長寿社会推進課 勤務
日本コンチネンス協会 九州支部 副支部長
コンチネンスアドバイザー 種子田 美穂子 先生 

講演2: 18:20 ~ 19:00
知っておきたい「便秘外来」
演者 社会医療法人社団高野会 くるめ病院
名誉院長 荒木 靖三先生 

*ご参加登録時の個人情報、第三者に提供することはありません。
共催: 光晴会病院、EAファーマ株式会社

連携病院のご紹介

山根内科胃腸科医院



院長
山根 豊

当院は光晴会病院とは遠く離れた浦上川下流、幸町にある内科医院です。浦上川沿いの新道を県庁方向へ向かい稲佐橋交差点の左角に位置しています。幸町といってもピンと来ない方も多いと思いますが、当院の隣には三菱重工業幸町工場跡地があり、現在新しいサッカー場を主体とする長崎スタジアムシティの建設が始まっています。2024年春には完成予定で、その時にはスタジアムに隣接する診療所となる予定です。また当院の屋上には風見鶏を思わせる直径1.8mの風車が設置されています。これは小型風力発電の風車でアルプスの山小屋などに設置されているものと同じです。長崎港から吹く強い南風には台風のために悩まされてきましたが、この風を何とか利用できないかと思い設置し当院の目印となっています。現在は看板灯の電源として利用しており非常時の助けにもなる予定です。お近くをお通りの際には一度当院の屋上をごらんになってください。

当院は内科・胃腸科を標榜しており2点を診療の柱として日常診療を行っています。

第一点は高齢化社会の中で高血圧・高脂血症・糖尿病などの長年にわたる生活習慣病や、急な発熱・咳嗽・腹痛・下痢などの急性疾患を診る家庭医としての役割を果たしていくことです。患者さんからは通院の原因疾患ばかりでなく日常に気になる諸症状のご相談も承っています。専門外のことについては地域の医療機関と連携して適切な検査・治療ができるよう心がけています。

またコロナワクチンやインフルエンザワクチンなどの予防接種や健康診断などの予防医療も行い日々の健康維持や病気の早期発見に貢献できればと考えています。

第二点は専門領域である胃・大腸・肝臓などの消化器系疾患での質の高い診療を目指しています。当院では年間1500例を超える胃・大腸の内視鏡検査を行っており、そこから毎年多くのがん症例が発見されています。特にリスクが高い方々には定期的に検査を受けていただき、運悪く癌が発生した場合でもより早期に癌が発見できるように苦痛の少ない内視鏡検査を心がけ安心して検査を受けていただくことを目指しています。この内視鏡検査については以前から光晴会病院と密な病診連携を取らせてもらっています。非常勤の内視鏡検査医として定期的に勤務させて頂き、時には無床の当院では切除できず入院での切除が必要な大腸ポリープ症例などについて光晴会病院で私が切除を行ったりしています。その後の入院加療については消化器内科の先生にお世話になっており大変感謝しております。

光晴会病院からはやや離れた地域にある当院ですが、当院の2つの柱を支えていく上で光晴会病院との連携は大切な屋台骨となるものです。光晴会病院のスタッフの皆様にはいつも大変お世話になっていますが、今後も地域の皆様に貢献できるようお互いに頑張っていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いたします。

山根内科胃腸科医院

〒850-0046 長崎市幸町6番20号

TEL 095-823-6769

FAX 095-823-6229

診療時間 平日(月・水・木・金) 9:00~13:00 14:30~17:30

火曜 9:00~13:00

土曜 9:00~14:00

内科 消化器内科
胃腸内科



ケーススタディ発表を終えて

ケーススタディとは、患者さん1人を対象に個別的な問題解決を行い、看護師自身の看護技術の向上や“気づき”を得るための研究です。

当院では入職(卒後)2年目の看護師を対象にケーススタディ発表会を開催しています。

2年目看護師としての看護事例を通し、自身の学びや気づき、反省などをまとめ発表することで、今後の看護師としての経験に繋げていくための場となっています。

今年度は2021年11月12日に7名の看護師がケーススタディの発表に臨みました。



南4階病棟 I・A記

南4階病棟は心臓血管外科、循環器内科と一般内科の混合病棟になります。今回のケーススタディでは、両足閉塞性動脈硬化症、両足趾潰瘍の診断にて、右大腿動脈の下肢動脈バイパス術、その後両足趾断端形成術(右第4、5趾、左第2～5趾)を施行した患者さんに対して関わらせてもらいました。患者さんは、足趾切断後ADL低下を認め、在宅復帰は困難と考えられていましたが、在宅への退院を希望されました。在宅退院を望まれる患者さん本人の思いを知るため傾聴的な態度で接し、患者さんへ共感し、患者さんの状態に寄り添った介入が行えるように関わりました。その中で得られた情報を、チームや理学療法士に発信していき、患者さんの希望を叶えるための関わりを行いました。退院に向け患者さんの状況を見ながら段階的に目標・問題を見つけ出し介入する事で、退院が可能となり、希望通り在宅退院となりました。

今回のケーススタディを通して、患者さんの元に積極的に足を運び信頼関係を築き、思いを知ることで患者さんの思いに寄り沿った看護に繋がる事を学びました。また、チーム内で先輩方から多くの助言をいただき、自分だけの視点では気づけない問題点やアプローチ方法に気づくことができました。そして、多職種との職種間で情報を共有する事で、より良い看護に繋がる事も学びました。この経験を活かし、今後も患者さんと積極的に関わり、チームや多職種への発信力を高め、より良い看護に繋げていきたいと思えます。



漢方薬のはなし

漢方薬の特徴(西洋薬との違い、 サプリメントとの違い)



薬剤科科長
成末 まさみ

●漢方薬とは

漢方薬は中国のお薬ではなく、5-6世紀以降に中国から医学や漢方処方薬・生薬が渡来し、そこから日本国内の風土・気候、日本人の体質やライフスタイルに合わせて進化・発展してきました。現代医療で用いられている漢方医学や漢方薬は、「日本独自の医学」と言えます¹⁾。

漢方薬はもともと煎じ薬でしたが、現在は一度煎じたものを主にスプレードライなどの製法によって顆粒状のエキス製剤としています。飲みやすさを考慮した錠剤タイプもありますが、吸湿しやすいためアルミシートで包装されています。

従来の煎じ薬の服用法と同じように香りや味の効果を得るにはエキス製剤をお湯で溶かして服用します。もちろん、他の粉薬と同様に水で服用することもできます。

●漢方薬と西洋薬・サプリメントとの違い

西洋薬とは人工的に化学合成された物質がほとんどで、多くは一つの成分で構成されており、一つの疾患や一つの症状に強い薬理作用を示します。西洋医学の考え方では頭痛や腹痛といった特定の部分を治療の対象として薬を選択します。患者さんへの薬の投与を考える際、個別に腎臓や肝臓の機能、アレルギー歴や体格、年齢を考慮して薬を選択し、投与量や投与間隔を調節します。

一方、漢方薬は植物・動物・鉱物などの天然物を原料とした生薬を決まった分量で配合されたもので、

多くの成分が含まれます。西洋薬と異なり、漢方薬は一つの疾患や症状を改善するものではありません。人は病気を治すための自然治癒力をもっており、漢方はくずれたバランスを整え、自然治癒力を引き出します²⁾。

漢方薬を処方の際には患者さんの「証」を考慮します。患者さんの「証」が漢方薬とあっていない場合、同じ適応症に投与しても漢方が効果を発揮できないことがあります。一般的に漢方は副作用が西洋薬と比較して少ないと言われますが、体質に合わない漢方を常用すると副作用が起こる場合もあります。

サプリメントはある成分が濃縮されて錠剤やカプセルなど通常の食品とは違う形をして作られた製品で、健康食品のカテゴリーに入るものです。医薬品とは異なり法律で決められた定義はなく、食事で十分補給できない栄養素(ビタミン、ミネラル等)を補うものです。サプリメントは医薬品ではないため薬効を期待することはできません。

参考文献

- 1) ツムラホームページ「漢方の歴史」
- 2) 川添 和義 腎×漢方薬POCKET BOOK 日本腎臓薬物療法学会監修. 東京, じほう 2018.17



外来週間診療予定表

2022年1月4日～

	月	火	水	木	金	土
内科	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	みやぞえ ゆり 宮副 由梨 (消化器)	よしおか まさと 吉岡 正人 (一般)	みやぞえ ゆり 宮副 由梨 (消化器)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	
	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓)	ひらい たつひろ 平井 達大 (腎・一般)	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓)	しばた りゅうじろう 柴田 龍二郎 (一般)	
	たうら なおた 田浦 直太 (一般)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	ながよし ようすけ 永吉 洋介 (呼吸器)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	ながよし ようすけ 永吉 洋介 (呼吸器)	
	いずみ もともり 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	むらた ともや 村田 朋哉 (消化器)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	むらた ともや 村田 朋哉 (消化器)	いずみ もともり 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	
			よしだ ゆうき 吉田 有希 (腎・一般)			
循環器内科	こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひこ 石崎 正彦		こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひこ 石崎 正彦	
心臓血管外科	ふるたち あきら 古舘 晃	こが きよかず 古賀 清和		ふるたち あきら 古舘 晃	こが きよかず 古賀 清和	
泌尿器科	こんどう つばさ 近藤 翼	やまさき やすと 山崎 安人	こんどう つばさ 近藤 翼	大学医	やまさき やすと 山崎 安人	
外科	きしかわ ひろき 岸川 博紀	おかだ かずや 岡田 和也	きしかわ ひろき 岸川 博紀	きしかわ ひろき 岸川 博紀	すすむ せいや 進 誠也	
	おかだ かずや 岡田 和也	やまくち いずみ 山口 泉	たなか しろう 田中 史朗	すすむ せいや 進 誠也	たなか しろう 田中 史朗	
	すすむ せいや 進 誠也	えんじょうじ たかひろ 円城寺 貴浩	えんじょうじ たかひろ 円城寺 貴浩	やまくち いずみ 山口 泉	もりうち ゆき 森内 由季 (形成外科)	
【午後】 14:00 ～ 16:00		第1・3週 おかだ かずや 岡田 和也 (便秘外来)	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓病疾患専門)	よしおか まさと 吉岡 正人 (一般)	よしだ ゆうき 吉田 有希 (腎・一般)	
		ひらい たつひろ 平井 達大 (腎臓病疾患専門)		(非常勤) しみず としまさ 清水 俊匡 (リウマチ専門)		
【午後】 13:00 ～ 15:00		第1・3・5週 こが きよかず 古賀 清和 (下肢静脈瘤専門)				
		ふるたち あきら 古舘 晃 (大動脈専門)				
糖尿病センター 9:00 ～ 12:00	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	
	かわはら ひろみ 川原 仁美	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳 フットケアー	せら やすのり 世羅 康徳	

※ 診療科目：内科・外科・泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・消化器科・リウマチ科・リハビリテーション科・呼吸器科・腎臓内科・形成外科・肛門外科・糖尿病内科・麻酔科

※ 診療受付時間：午前8：30より 午前11：30まで **予約制ですので、できるだけ予約をお願い致します。**

光晴会病院 地域医療連携室 TEL 095-857-3563 (直通) FAX 0120-573-632 (直通)

(コミュニケーションマガジン) 編集委員

編集・発行責任者：岡田 和也

編集スタッフ：佐々田 (南4階) 川端 (南5階) 瀧上 (医事課)

中尾 (クラーク課) 楠山 (地域医療連携室)

吉野 (臨床検査科) 金子 (顧問)

特定医療法人 光晴会病院

〒852-8053 長崎市葉山1丁目3番12号

TEL095-857-3533 FAX095-857-2572

http://www.kouseikai.org/